

# 地域貢献でできる人材を

心に留め置いている外国の格言がある。「早く行きなければ一人で行け。遠く

## 県立大学の挑戦

「新任教員」紹介③

PR

まで行きたければ一緒に行け」。ここから導く解は、コミュニケーション能力の

### 経営学部 経営学科



#### プロフィール

横浜国立大大学院国際社会学研究科博士課程後期修了。神奈川県政策研究・大学連携センターで特任研究員などを歴任。担当科目は「地域と企業」。横浜市出身

### 津久井 稲緒 准教授 (49)

大切さだという。

前職はシンクタンクの研究員。神奈川県で、「コミュニケーション」や「科学技術」などをテーマに、県の政策立案と遂行を支援する調査研究に取り組み、地域と向き合ってきた。

県立大の特色の一つが、地域との連携だ。学生が県内の離島を訪ねて課題を探り、提案に結び付ける「しまなびプログラム」は、「大企業やグローバル企業の分析とは異なる観点からの経営学です。しまという」第3

のキャンパス”で、しまの人たちや生活と関わりながら、課題の発見力や主体的な行動力、コミュニケーション力などを実践的に学んでいきます」という。

「大学にとって学生は『お客さま』とされる向きもあるが、真のお客さまは地域であり社会。そこに貢献できる人材を育成していきたい」。地域社会に対して、責任ある教育を担いたいと抱負を語る。【随時掲載】

7月17日(日)・18日(月祝)  
オーブンキャンパス

0956  
(47)  
5856